

ソロプチミスト日本財団は社会活動その他の奉仕活動に対する援助・協力を行うことにより、福祉の向上および国際友好の進展に寄与しています。その財団賞に当クラブからは下記賞への推薦をいたしました。

■社会貢献賞／米沢清信・千秋夫妻



米沢清信・千秋ご夫妻は、10年前に菊池郡の国立ハンセン病療養所・菊池恵楓園ゲートボール会に準会員として入会。毎日のように手づくりのまんじゅう等を携え、練習に参加し、入園者の方々と交流を深めてこられました。ハンセン病患者に対する差別・偏見の解消に力を尽くされたので恵楓園から感謝状を受けられ、平成7年には熊日『緑のリボン賞』も受賞されました。本会よりも改めてそのボランティアの功績をたたえます。

■青少年ボランティア賞
熊本県立第一高等学校ボランティア専門委員会



←暑さを吹き飛ばす笑顔

熊本県立第一高等学校ではボランティア専門委員会を設置しています。毎月第4土曜日の早朝に繁華街の清掃を行っています。熊本の町を美しく保つための若い人達の努力です。ささやかであっても積極的に考えて行う意欲と継続力に拍手を贈ります。



私たちの歩み

'94年3月~'97年8月 活動報告

勉強会



▲第10回リジョン大会（1996年5月於北九州）

国際ソロプチミストはNGOのきちんとした組織です。基本的ルールを会員が正確に理解することから喜ばれる奉仕がはじまります。

- ・「クラブ手続・財団内規」の作成——規約決議委員会
- ・ソロプチミストの組織・活動内容・約束事——ソルト委員会

より質の高い奉仕活動を行うため、様々な分野で各委員会が中心となって勉強会を開き、会員相互で意見を交換しています。

- ・「地球の自然環境を守る」ことの大切さ——環境奉仕委員会
- ・「女性グループ活動」「熊本女性の立場」「仕事と家庭の両立」卓話聴講——人権／女性の地位向上委員会
- ・南リジョン大会へ出席——各委員会の分科研究会へ参加
 - 第8回1994年5月……鹿児島
 - 第9回1995年5月……佐賀
 - 第10回1996年5月……北九州
 - 第11回1997年5月……別府

毎月の例会は組織の勉強と共に親睦を深める楽しい集まりです。

- ・「ミニ英会話」——国際親善と理解活動委員会
- ・「例会無欠席者表彰状授与」——出席委員会

発行

1997年8月30日
国際ソロプチミスト熊本-さくら
広報委員 出田節子・山口輝美
例会日時／毎月第3水曜日
10:00~12:00
例会場／ホテルニューオータニ熊本
TEL096(326)1111

国際ソロプチミスト
熊本-さくら

国際ソロプチミスト認証式

1994.3

◆会員数37名で「熊本-さくら」発足◆



▲リジョン役員とスポンサークラブ(SI熊本)のご支援とご指導で37名の新しいソロプチミストが誕生しました

本会発足にあたり、1994年3月3日、ニュースカイホテルに於いて、国際ソロプチミスト(SI熊本)のスポンサーにより「SI熊本-さくら」としての認証式が行われました。

出田節子初代会長はじめ37名の会員一同、ソロプチミストとしての自覚を持ち、よりよい社会づくりのために奉仕活動を行うことを、決意表明致しました。

チャリティ講演会

1995~1997

第1回

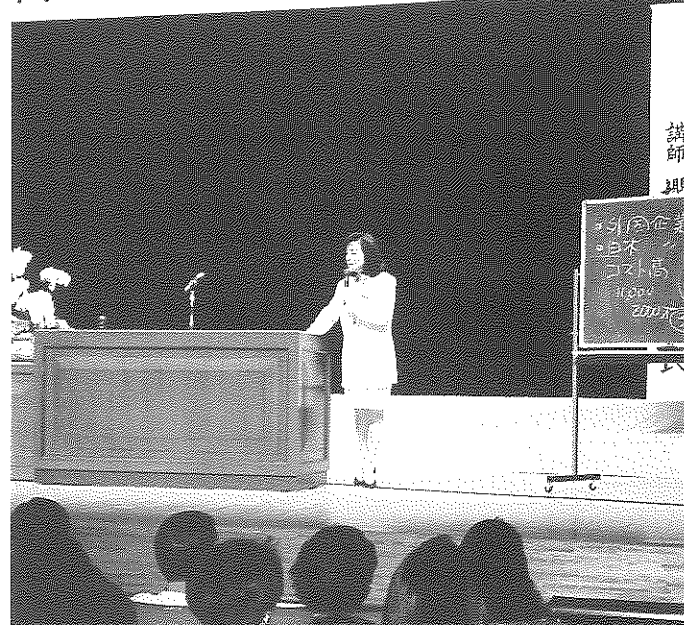
「女性が輝く時代」

講師 櫻井よしこ氏

1995年5月28日(日)産業文化会館

第1回チャリティー講演会には、当時ニュースキャスターとしてご活躍の櫻井よしこ氏に「女性が輝く時代」というテーマで講演をしていただきました。国際的視野に立った政治や社会への個人的な考えを率直に話して下さい大変参考になりました。

周年記念チャリティー講演会



▲櫻井よしこ氏



▲三角市長、ふれあいワークの方達と会員

この講演会で得た収益金は三角市長を通して阪神淡路大震災で被災し、熊本へ身を寄せている子ども達に寄付いたしました。「元気を出します。ありがとう」との、かわいい字の御礼状が届きました。

同日、「ふれあいワーク作業所」へも寄付しました。早速クーラーを設置しますと言われました。



▲「ふれあいワーク」丸山代表に寄付金を渡す出田会長

第2回

「がん・エイズ・遺伝子治療」

講師 高月 清氏

1996年6月15日(土)熊本市市民会館

第2回には、熊本大学医学部名誉教授の高月清氏に、「エイズとその治療法」について講演していただきました。最新医学を分かりやすく説明していただき、エイズについての正しい知識と治療法についての理解を深めることができました。

「知らないでいたことを聞けてよかった」とおっしゃった方の表情が印象的でした。

この講演会で得た収益金は「エイズ予防財団」に寄付いたしました。



▲片山会長挨拶



▲講師の高月氏



▲受付風景

第3回

「心のおしゃれ」

講師 浜 美枝氏

1997年4月19日(土)熊本市市民会館



▲講師 浜美枝氏

第3回講演会には、女優のかたわらエッセイストとしてもご活躍の浜美枝氏を招きました。「心のおしゃれ」について「見掛けの美しさよりも、もっと内面を磨く努力をするべきだ」と話されました。チャリティー講演会に賛同してご来場いただいたお客様共々会員は楽しいひとときを過ごしました。

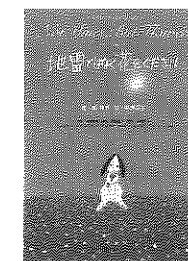
この講演会で得た収益金で、地雷撤去キャンペーン絵本「地雷ではなく花をください」を購入し、熊本市内と会員居住区の小学校へ2冊づつ贈呈いたしました。熊本市PTA協議会のご協力に感謝いたします。



▲本を渡す嶋田会長



各学校宛の本を手にする会員



「地雷ではなく花をください」
絵・葉祥明 文・柳瀬房子
地雷に触れてケガをする子供達が後を断ちません。みんなの平和な生活を願ってこの絵本は出版されています。
「地雷除去作業への支援」はソロプチミストの国際的プロジェクトでもあります。

ふれあいワーク作業所

◆自立への道を求めて◆

「ふれあいワーク作業所」は障害者共同作業所です。てんかん及び重度の知的障害を持つ人達が、基本的な生活習慣を身につけ、社会生活へ適応、復帰することを目的に平成6年5月龍田町に開所されました。仲間達は、地域とのふれあいを大切にしながら毎日楽しく仕事を頑張っています。

私達はこの「ふれあいワーク作業所」を毎月訪問し、共同作業を行っています。知的障害者をかかえたご家庭の努力が少しずつ理解出来てきました。このような体験を基に今後どんな協力が喜ばれるのか、もっと考えてゆこうと話合っています。

私達だけでなく、みなさまからの支援の輪が広がりますようお願いしています。



▲入所者とあんこバッグの詰め物作りをしています

「ふれあいワーク作業所」連絡先 TEL096-338-4213

ユースフォーラム

1997.5

テーマ「地球にやさしい環境づくり」

—今、私たちに何ができるのか—

1997年5月31日(土)熊本大会

7月23日(水)南リジョン大会

熊本大会入賞者

- 第1位 樋口 恵理 (熊本高校2年)
- 第2位 野中 麻里子 (熊本高校1年)
- 第3位 後藤 綾 (九州女学院高校3年)

ユースフォーラム熊本大会は、熊本市国際交流会館で開催され、熊本の3国際ソロプチミストクラブから選出された高校生17名による英語での討論がなされました。

当クラブから推薦し、第1位入賞した樋口恵理さんは、南リジョン大会に参加し、全国大会参加資格の最終選考にまで残る健闘ぶりでした。

FORUM, JAPAN MINAMI REGIONAL ENVIRONMENT FOR OUR PLANET. SHOULD DO NOW ?



▲本会推薦の第一位入賞者樋口恵理さん(左から3番目)と会員

このユースフォーラムは、「21世紀を担うリーダーの能力開発」という質の高い青少年育成を目標にした国際ソロプチミストが提供している1つのプログラムです。

新入会員認証

1996・1997

第2年度3月に5名、第3年度7月に5名の新しいクラブメンバーを迎えました。

ソロプチミストとして、ソロプチミズムに忠誠を誓う認証式を行い、友情を築くことと、奉仕への努力を改めて認識しました。



▲1996年3月 認証式での誓い

継続は力なり since 1994

街頭募金に参加

本会発足以来、3年間継続して街頭募金に参加しています。募金して下さる方の笑顔は何よりの励みに、これからも地道な活動を続けていくことが人を動かす大きな力になると信じ、頑張っていこうと思います。

街頭募金参加

- ・赤い羽根共同募金 (10月1日)
- ・ユニセフ「ハンド イン ハンド」 (12月)



▲ハンドインハンド募金 (福島知事と会員)



赤い羽根共同募金

チャリティバザー

◆収益金を『ふれあいワーク作業所』と『熊本市ボランティア週間実行委員会』へ寄付◆

家庭に眠っている品物を持ち寄って、ボランティア週間のバザー活動に参加しました。第2年度からは、お揃いのピンクのトレーナーで、ますます楽しく奉仕しています。



収集そして寄付

- ・使用済みプリペイドカード
- ・牛乳パック
- ・書き損じハガキ

これらの収益金はヒューマンネットワーク等の事業所へ寄付し、大変喜んでいただいています。

再春荘訪問

おむつを縫い、再春荘に寄付しています。少しずつでも出来ることをさせて欲しい。おむつ縫いはその思いから始めました。途切れることがないように続けます。



▲おむつの贈呈1994年度



▲1995年度